

一般社団法人 岩の力学連合会  
平成 23 年度・第 2 回理事会議事録

日時	平成 23 年 10 月 7 日 14:00～17:00	場所	公益社団法人地盤工学会 会議室
----	------------------------------	----	-----------------

理事会	理事長	清水 則一	○	副理事長	新 孝一	○	理事 幹事長	岸田 潔	○
	理事	芥川 真一	○	理事	石井 裕	○	理事	石田 毅	●
	理事	伊藤 高敏	○	理事	大津 宏康	●	理事	風間 優	○
	理事	金子 勝比古	×	理事	京谷 孝史	○	理事	坂口 清敏	○
	理事	笹尾 春夫	×	理事	蔣 宇静	×	理事	鳥井原 誠	×
	理事	中山 範一	○	理事	船戸 明雄	○	理事	山口 勉	×
	理事	山口 嘉一	×						
	監事	得丸 昌則	○	監事	福田 直利	○			
	組織 団体	公益社団法人 土木学会		組織 団体	公益社団法人 地盤工学会		組織 団体	社団法人 資源素材学会	
	組織 団体	公益社団法人 日本材料学会							

敬称略順不同, ○ : 出席, × : 欠席, ● : Web 出席

配 付 資 料

資料番号	資 料
資料 23-2-1	平成 23 年度第 2 回拡大常任理事会議事録
資料 23-2-2	平成 23 年度第 3 回拡大常任理事会議事録 (案)
資料 23-2-3	平成 23 年度・臨時理事会議事録(案)
資料 23-2-4	入退会報告
資料 23-2-5	Council Meeting 資料
資料 23-2-6	ISRM 及び岩の力学連合会の役員と諸行事一覧
資料 23-2-7	6th Int. Symp. on In-Situ Rock Stress 予算案②
資料 23-2-8	岩の力学国内シンポジウム運営方針・運営員会名簿
資料 23-2-9	平成 23 年度更生予算案
資料 23-2-10	岩盤力学シンポジウム時の特別講演会について
資料 23-2-11	ISRM 50 Year Anniversary Book
資料 23-2-12	平成 23 年度第 1 回 Rock Net 委員会 議事録
資料 23-2-13	平成 23 年度第 1 回電子ジャーナル委員会 議事録 (案)
資料 23-2-14	科学技術情報発信・流通総合システム利用申請書
資料 23-2-15	電子ジャーナルフライヤー
資料 23-2-16	Application From Rock Stress

- 定款 47 条に則り, 理事出席者 13 名(内 Web2 名)が定足数 (10 名, 定員 19 名の過半数) を満足している事を確認した.
- 理事会の議長は, 定款第 46 条に則り, 清水則一理事長があたり, 議事録署名者は, 定款第 50 条 2

項に則り、清水則一理事長、得丸昌則監事、福田直利監事とし、議事録作成者は、岸田潔理事とする。

## 理事長挨拶

## 議事前報告

1. 拡大常任理事会議事録紹介 資料 23-2-1, 2
  - ✓ 理事会に先立ち実施された 2 回の拡大常任理事会に関する議事録の紹介がなされ、審議事項等の説明・報告がなされた。

## 議 題：

1. 前回議事録の確認 資料 23-2-3
  - ✓ 原案通り承認された。
2. 入・退会について 資料 23-2-4
  - ✓ 資料を用いて、入・退会状況の説明がなされた。
  - ✓ これまでの滞納者に対しては、最終督促状を送付し、2 年以上滞納しているので定款従い会員資格が停止している事、1 月以内の納付がなければ会員資格喪失（定款 12 条）の処置をとることを書面で送付するように手続きを行うことが確認された。
  - ✓ 実際には、昨年度までは、会員資格を停止せずに ISRM 本部に会費の納入を行っていたので、上記措置で納付がなければ、未回収金および損失が発生することになる。この点については、責任を問わないことで社員総会に諮ることが確認された。
  - ✓ なお、今後このような事態が発生しないための対応方針の検討を行う。
3. Council Meeting (北京)への対応 資料 23-2-5, 6
  - ✓ アジア地域副会長選挙の状況報告がなされた。
  - ✓ 全体の Council Meeting では、特に対応すべき審議案件は存在しない。
  - ✓ アジア地域の Council Meeting では、次々回（2014 年）の ARMS8 の開催地に関する議論がなされる予定である。これに関しては、2014 年が連合会設立 50 周年の節目でもあるので、ARMS8 の開催地として立候補することとする。
  - ✓ 現在、VP 選挙で立候補・当選を目指しているため、ARMS8 の開催がアジア地域の Council Meeting で認められれば International Symposium として準備を進め、2012 年の ISRM の Council Meeting で提案を行うこととすることが確認された。
  - ✓ なお、ARMS8 の実行委員長、幹事長、学術部会長、開催地に関しては、次回理事会で決定を行う。構成 4 学会から意見・提案があれば、次回拡大常任理事会までに理事長・副理事長に申し出る。
4. 事務体制の更新について
  - 1) 専属事務員について
  - 2) デスク使用料について（関東支部：月 20 万円程度）
  - 3) 会議室使用料について（(公)地盤工学会の規定に従う）
  - 4) 会計士との契約について（提示額：年 50 万円→月 3 万円で交渉を行う）
  - ✓ 事務局体制の更新について、方針・原案の説明がなされた。
  - ✓ 事務員としてアルバイトを雇用することが提案され、承認された。週 3 日とする。業務内容は、事務・経理全般にわたるため、一定期間（1 月程度）経過後、再度、事務員との懇談の場を持つ。
  - ✓ 現時点では、アルバイトの雇用規定が存在しないため、公益社団法人地盤工学会のアルバイト雇用規定を援用する。アルバイト雇用規定の制定を進める必要がある。
  - ✓ 社会保険・雇用保険に関する対応を検討する。
  - ✓ 上半期は、旧契約で公益社団法人地盤工学会との清算を行う。
  - ✓ デスク使用料（事務局使用料）は、公益社団法人地盤工学会関東支部の契約条件が目安となるが、本会の規模と事務局員 1 名・週 3 回の駐在となることを考慮の上、交渉を行うこととする。

- ✓ 交渉は理事長に一任し、事務局を公益社団法人地盤工学会に置くことで交渉を進める。
- ✓ 会議室の使用料に関しては、公益社団法人地盤工学会のJGS会館会議室使用規定に従う。
- ✓ 公益社団法人地盤工学会が契約している公認会計士と顧問契約を行う。契約に関しては、理事長に一任する。

5. 委員会審議事項

- 1) 海外連絡委員会
  - ✓ 特になし。
- 2) 連合会賞選考委員会
  - ✓ 連合会賞の公募を開始するので、関係者への周知を実施してほしい、ということが新委員長より要請がなされた。
- 3) 国際技術委員会
  - ✓ 特になし。
- 4) 電子ジャーナル
  - ✓ ISRM Web から電子ジャーナルへのリンクを依頼する。海外連絡委員会が担当する。
- 5) Rock Net
  - ✓ 特になし。
- 6) 編集委員会
  - ✓ 特になし。
- 7) 企画委員会
  - ✓ 基金の取り崩しルール、寄附の受入ルール等の規約を作成することが確認された。原案を次回の拡大常任理事会に提案し、次回の理事会での承認を目指す。
- 8) 地殻応力国際シンポジウム組織委員会 資料 23-2-7
  - ✓ 平成 23 年度予算案が提案され、承認された。
  - ✓ 科学研究費への応募は、本会が学会として認められていないので断念する。学会登録を行った後、次年度に実施する。
- 9) 岩の力学国内シンポジウム運営委員会 資料 23-2-8
  - ✓ 運営体制が承認された。
  - ✓ 開催地を沖縄とすることで、承認された。
  - ✓ 平成 23 年度予算案が提案され、承認された。
  - ✓ 日韓ジョイントシンポジウムとして開催する。

6. 更生予算 資料 23-2-9

- ・ 地盤工学会への支出の変更
- ・ 会計士との契約
- ・ 地殻応力国際シンポジウム、岩の力学国内シンポジウムの予算化
  - ✓ 上記項目と未収金を計上する更生予算案が提示され、承認された。
  - ✓ 従来の特務一括支払い比べて、支出が大きくなる。この点について、全体的に削減できるものは削減できるよう、さらなる取り組みを行う。
  - ✓ 基金の取り崩しなどで、どのように国際会議や国内会議を運営するのか、中期的なビジョンを示すべきである、との意見が出された。理事長の活動方針を具体化、事務経費による財政の圧迫などもあり、中期的なビジョンで資金計画を示すことを実施する。
  - ✓ 各委員長は、次回の拡大実行委員会までに平成 24 年度活動方針とそれに対応する予算案

の提出を行う。

7. 学会登録について

日本学術会議協力学術研究団体への登録について

- ✓ 一般法人化し、独立した団体となったので、学会としての登録を実施することが確認された。

8. その他

特になし

報告事項：

1. 委員会活動報告

1.1 海外連絡委員会

- ・メール会議実施
- ・13<sup>th</sup> World Congress of ACUUS 2012 Singapore の廻覧
- ・岩盤力学シンポジウム時の特別講演会について
- ・ISRM 50 Year Anniversary Book 提出
- ・会員サービスの洗い出し、ISRMWeb での賛助会員のリンク先（12月まで）
- ・アジア地域 Council Meeting の Agenda 送付依頼の実施
  - ✓ 上記の内容の報告がなされた。

資料 23-2-10

資料 23-2-11

1.2 RockNet 委員会

- ✓ 資料を用いて活動状況の報告がなされた。RockNet のプラットフォームを変更する予定である。

資料 23-2-12

1.3 電子ジャーナル委員会

- ✓ 資料を用いて活動状況の報告がなされた。
- ✓ J-Stage への登録中である。

資料 23-2-13, 14, 15

1.4 地殻応力国際シンポジウム組織委員会

- ✓ 資料を用いて活動状況の報告がなされた。
- ✓ ISRM へ Specialized Symposium への申請を行った。

資料 23-2-16

2. KSRM Symposium 参加報告

- ✓ 清水理事長より、9月末に開催された KSRM の Symposium の報告がなされた。

次回開催

第3回理事会：平成24年3月13日(火)15:00～17:00

主な議題

- ・H24年度予算案の審議（理事会マター）
- ・平成23年度決算案の審議
- ・総会議事次第の確認
- ・連合会賞の承認（理事会マター）
- ・代議員選挙結果の確認
- ・ARMS8への対応（実行委員長、幹事長、学術部会長、開催地などの決定）
- ・その他

以上

議事の経過および結果を明確にするため、この議事録を作成し、議長および議事録署名者が下記の通り記名・押印する。

平成23年10月7日  
一般社団法人 岩の力学連合会

議長および議事録署名者 理事長 清水 則一 ㊟

議事録署名者 監事 得丸 昌則 ㊟

議事録署名者 監事 福田 直利 ㊟